

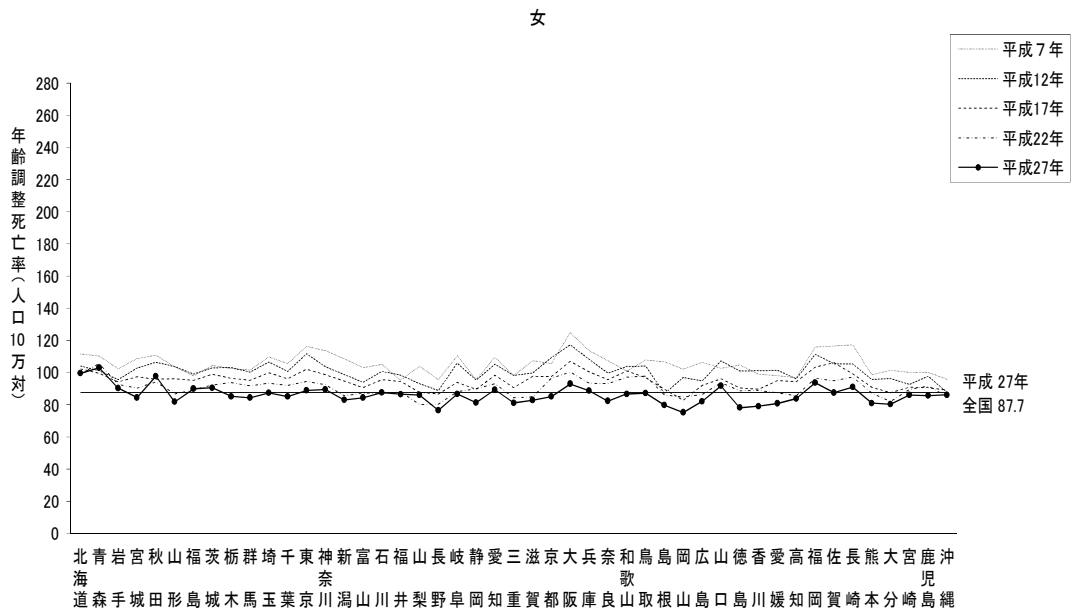
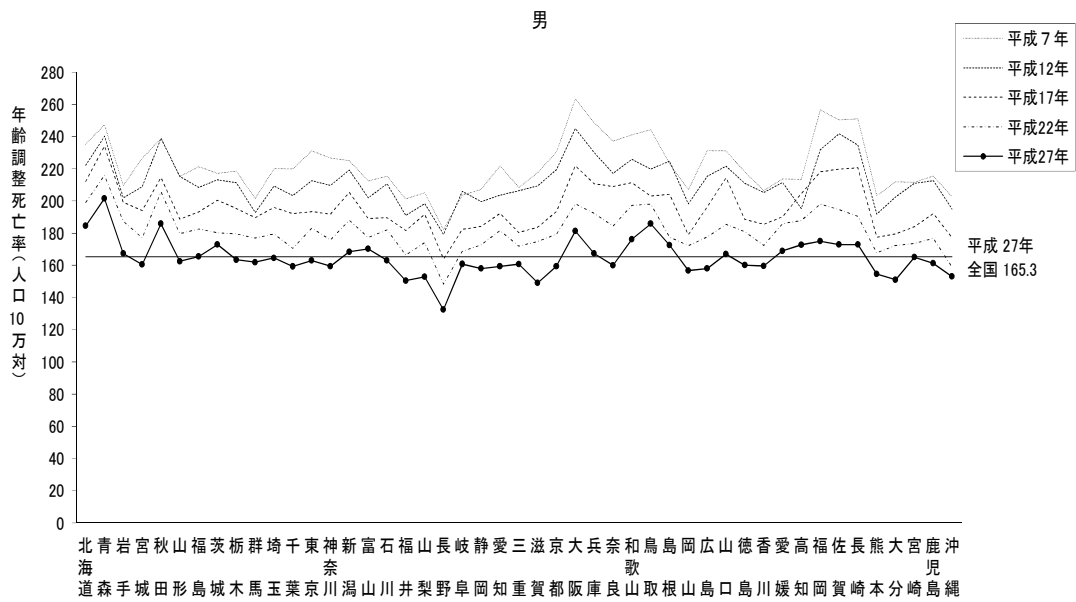
4. 主な死因の都道府県別年齢調整死亡率の推移

(1) 悪性新生物

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は長野、滋賀、福井等で低く、青森、秋田、鳥取等で高くなっており、女は岡山、長野、徳島等で低く、青森、北海道、秋田等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 182.4 から 165.3、女は 92.2 から 87.7 と低下しており、都道府県別では、男は全都道府県で、女は 41 都府県で低下している。(図7)

図7 悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

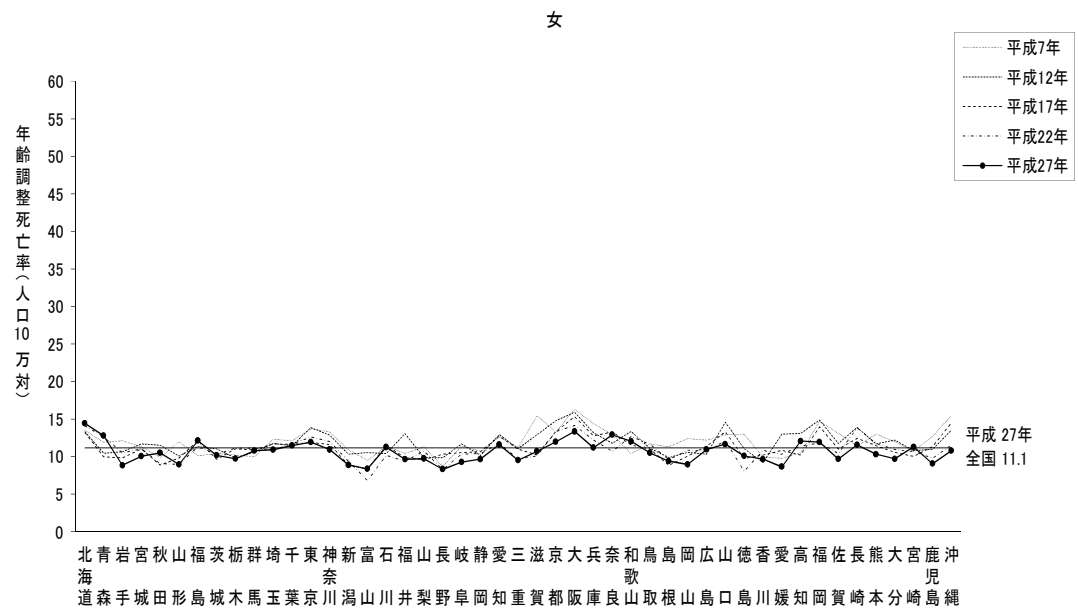
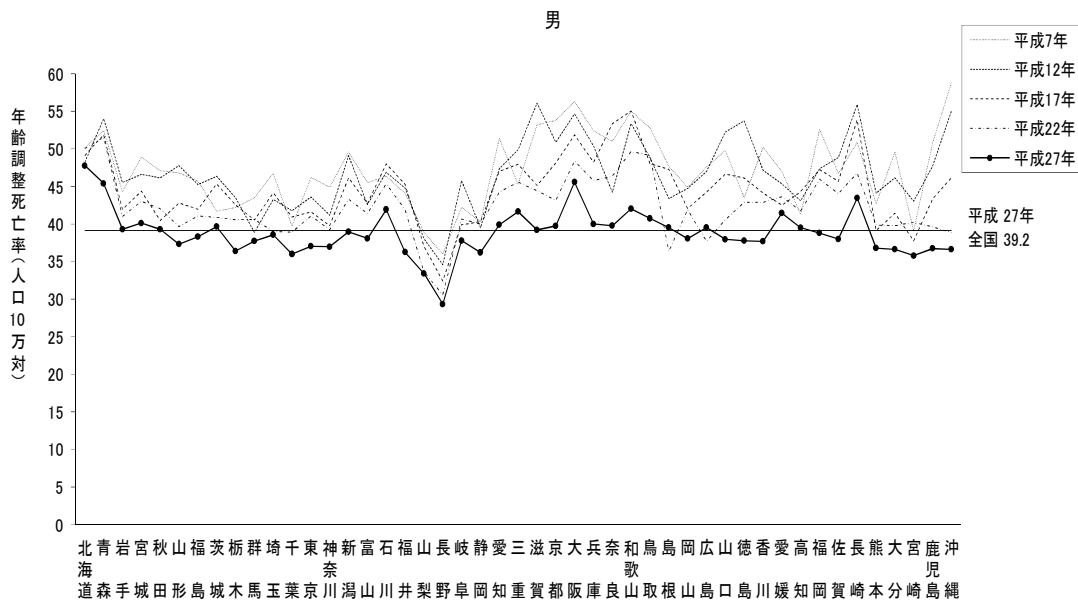


○肺の悪性新生物

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は長野、山梨、宮崎等で低く、北海道、大阪、青森等で高くなっており、女は長野、富山、愛媛等で低く、北海道、大阪、奈良等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 42.4 から 39.2、女は 11.5 から 11.1 に低下しており、都道府県別では、男は 45 都道府県で、女は 32 都府県で低下している。(図8)

図8 肺の悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

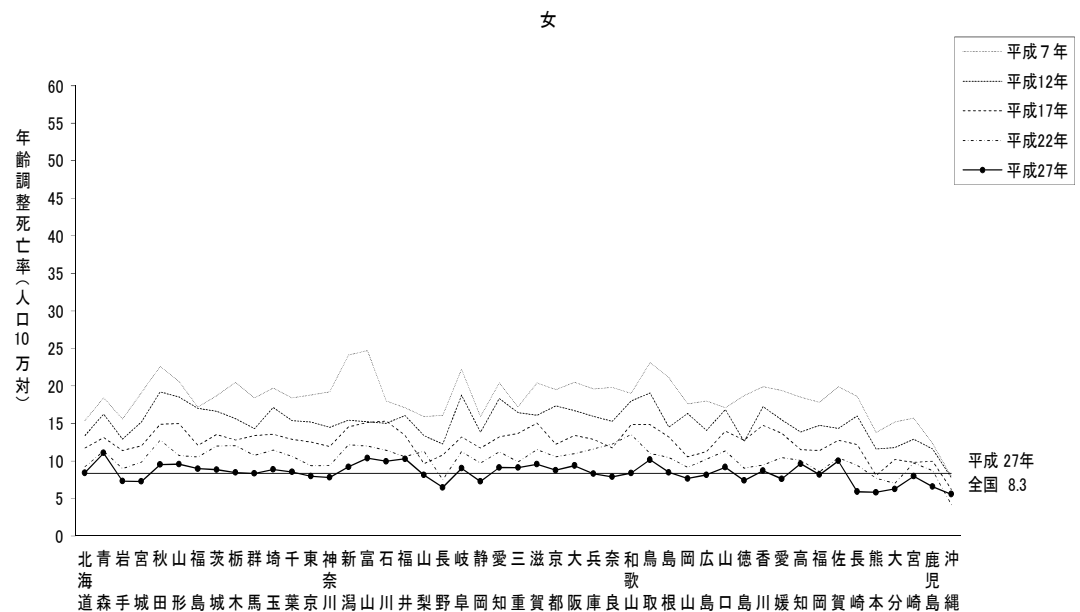
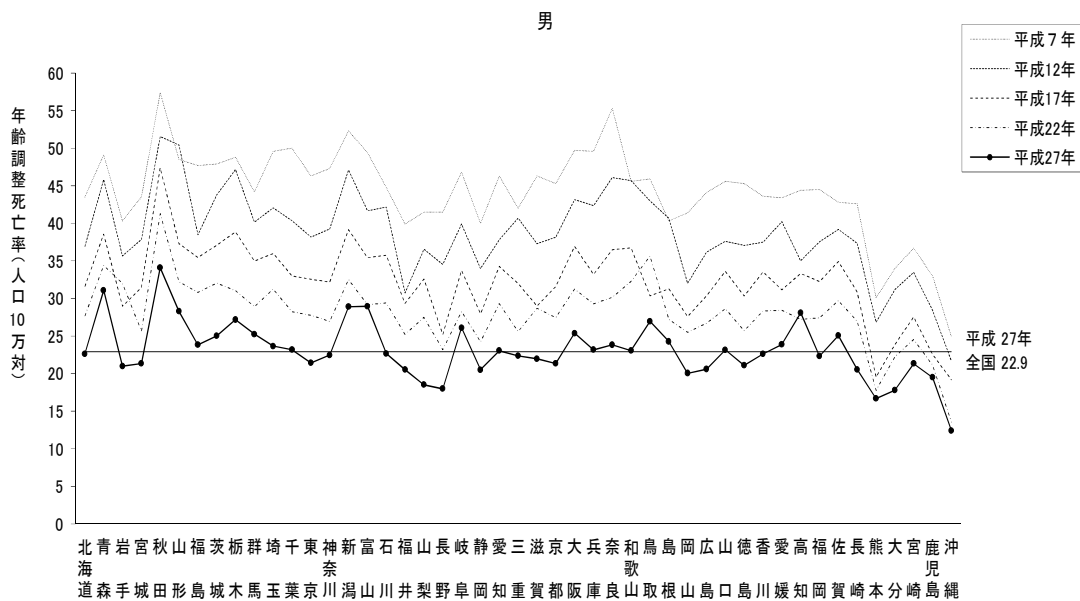


○胃の悪性新生物

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は沖縄、熊本、大分等で低く、秋田、青森、富山等で高くなっており、女は沖縄、熊本、長崎等で低く、青森、富山、福井等で高くなって

いる。
平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 28.2 から 22.9、女は 10.2 から 8.3 に低下しており、都道府県別では、男女とも 46 都道府県で低下している。(図 9)

図9 胃の悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

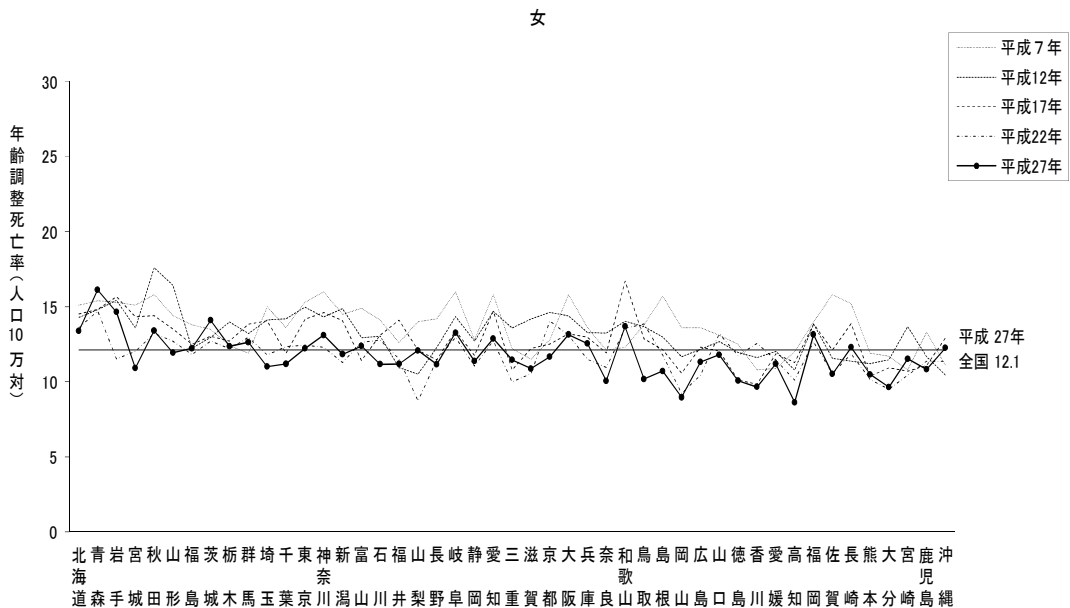
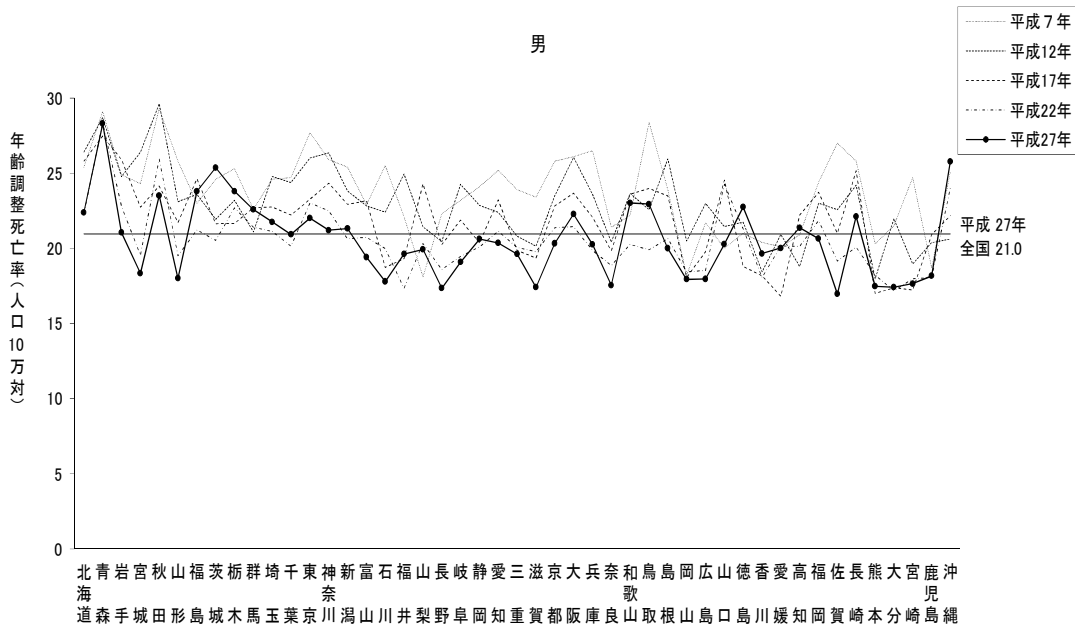


○大腸の悪性新生物

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は佐賀、長野、滋賀等で低く、青森、沖縄、茨城等で高くなっており、女は高知、岡山、大分等で低く、青森、岩手、茨城等で高くなって

いる。
平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 21.0、女は 12.1 と前回とほぼ同じであり、都道府県別では、男は 26 都府県で、女は 23 都道府県で低下している。(図 10)

図 10 大腸の悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

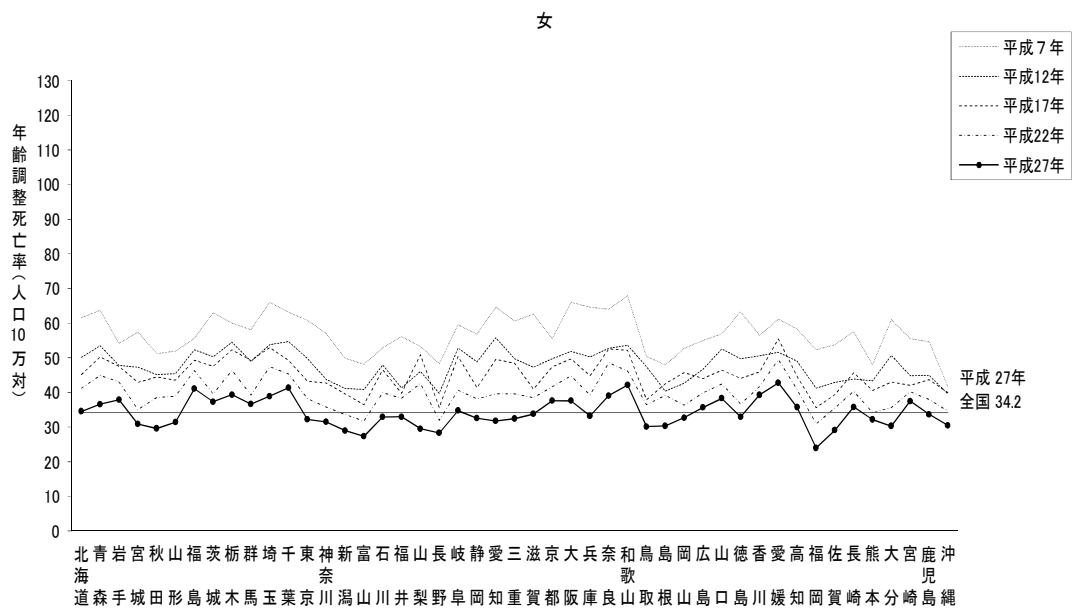
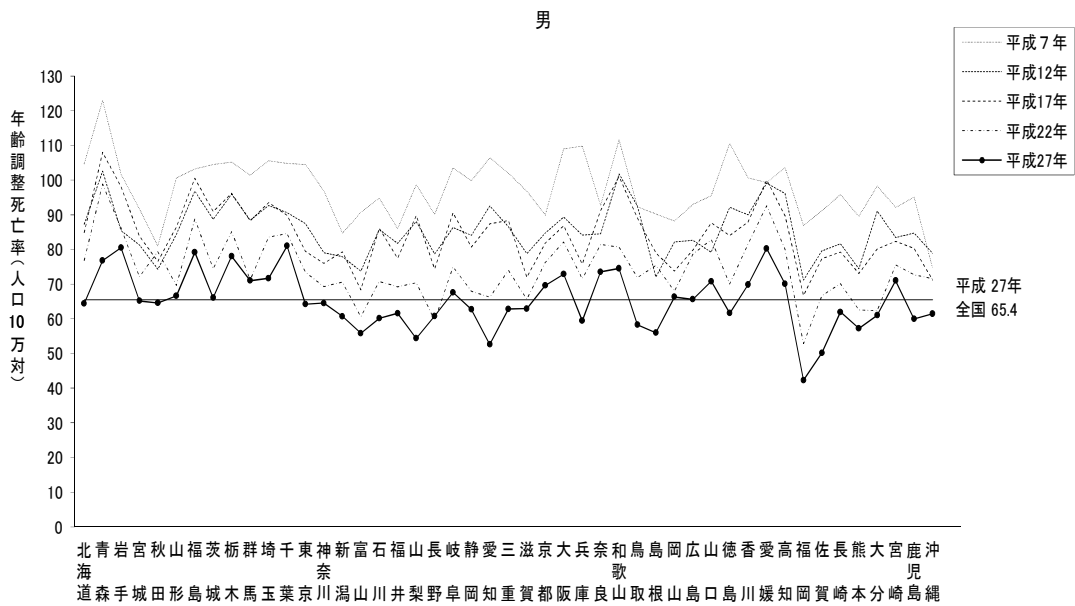


(2)心疾患

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は福岡、佐賀、愛知等で低く、千葉、岩手、愛媛等で高くなっており、女は福岡、富山、長野等で低く、愛媛、和歌山、千葉等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 74.2 から 65.4、女は 39.7 から 34.2 と低下しており、都道府県別では、男は 46 都道府県で、女は全都道府県で低下している。(図 11)

図 11 心疾患の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

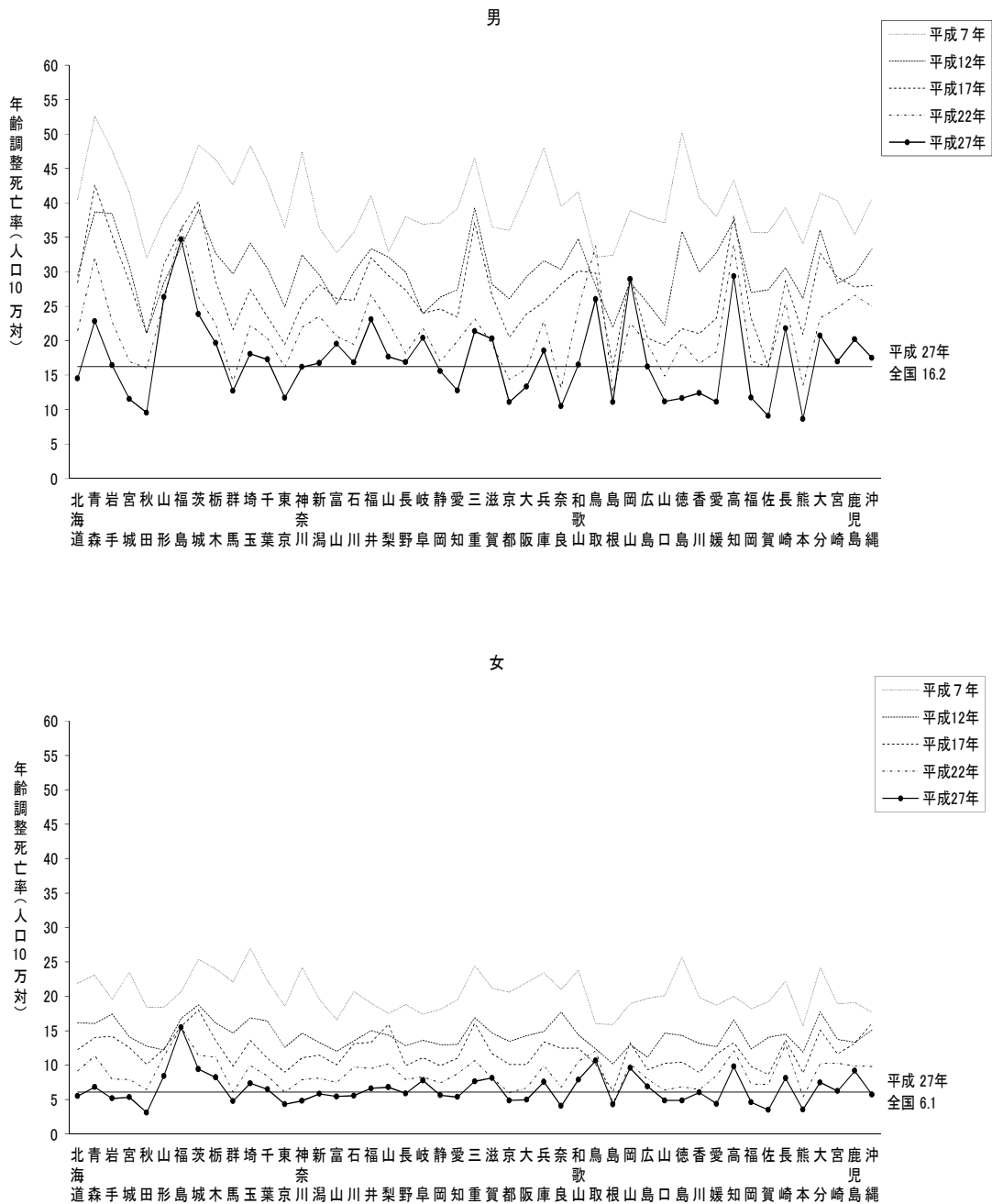


○急性心筋梗塞

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は熊本、佐賀、秋田等で低く、福島、高知、岡山等で高くなっており、女は秋田、佐賀、熊本等で低く、福島、鳥取、高知等で高くなって

いる。
平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 20.4 から 16.2、女は 8.4 から 6.1 と低下しており、都道府県別では、男は 44 都道府県で、女は 45 都道府県で低下している。(図 12)

図 12 急性心筋梗塞の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—



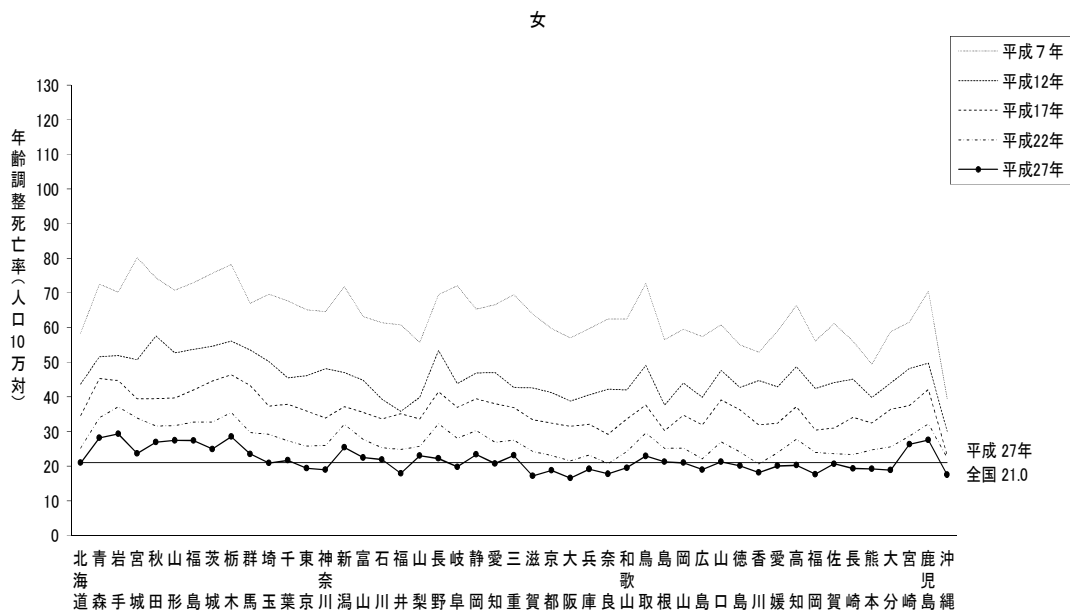
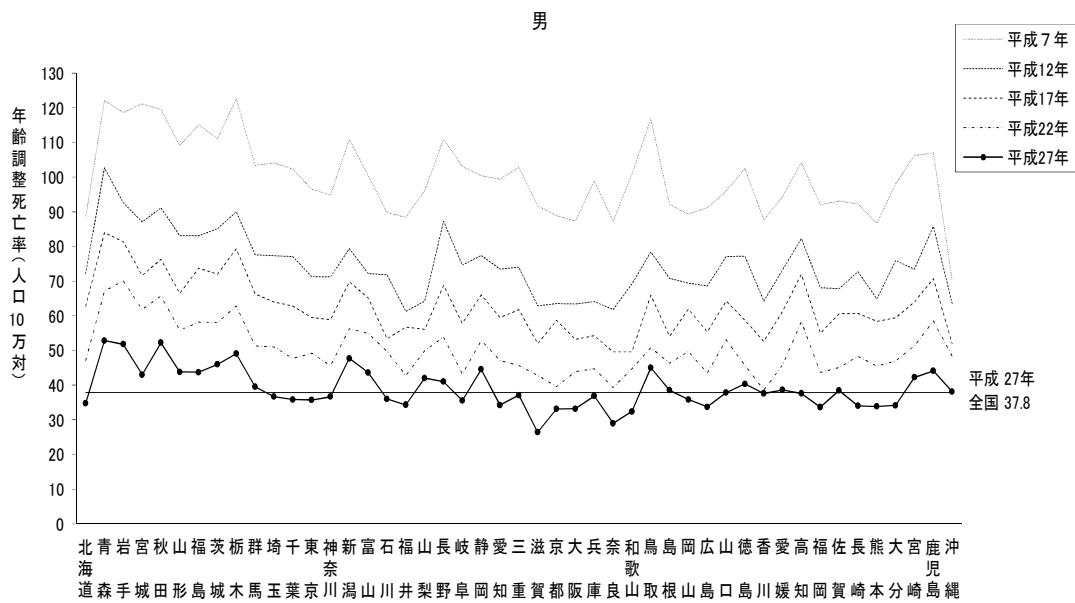
(3)脳血管疾患

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は滋賀、奈良、和歌山等で低く、青森、秋田、岩手等で高くなっており、女は大阪、滋賀、沖縄等で低く、岩手、栃木、青森等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 49.5 から 37.8、女は 26.9 から 21.0 と低下しており、都道府県別では、男女とも全都道府県で低下している。

(図 13)

図 13 脳血管疾患の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

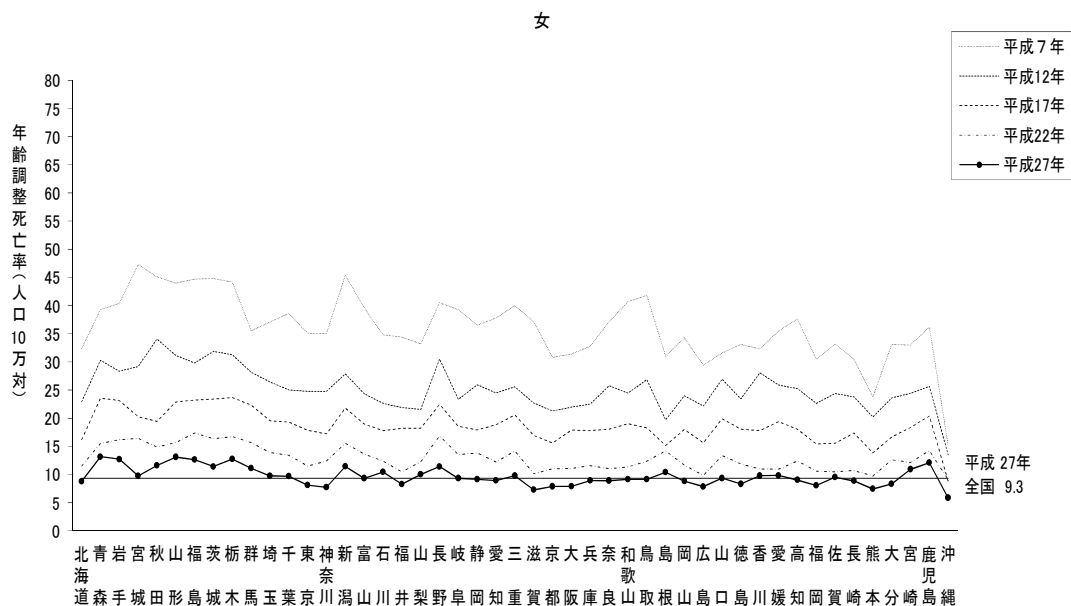
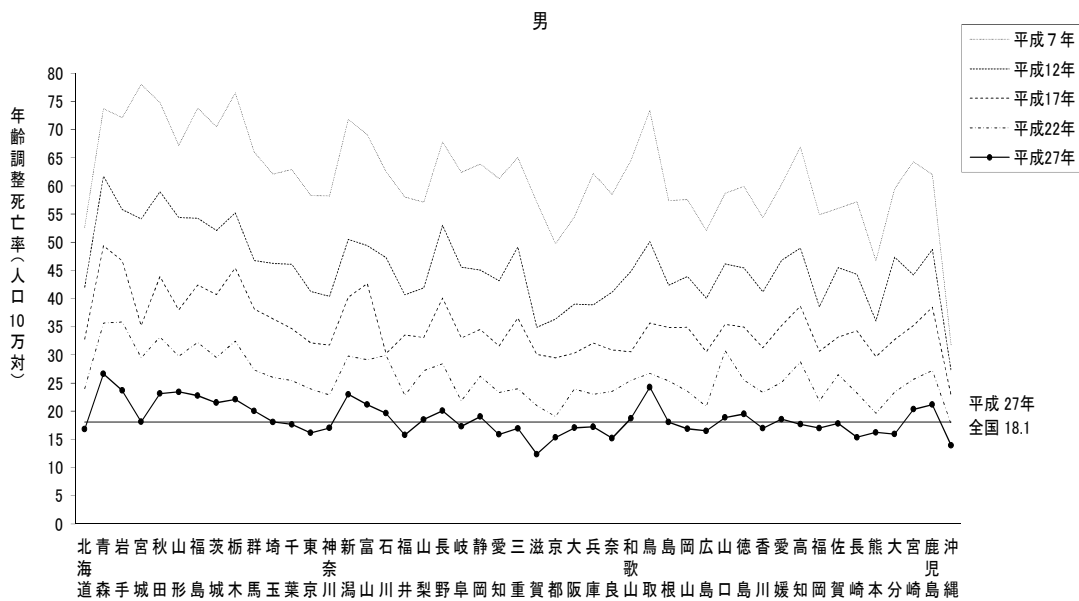


○脳梗塞

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は滋賀、沖縄、奈良等で低く、青森、鳥取、岩手等で高くなっており、女は沖縄、滋賀、熊本等で低く、青森、山形、栃木等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 25.4 から 18.1、女は 12.8 から 9.3 と低下しており、都道府県別では、男女とも全都道府県で低下している。(図 14)

図 14 脳梗塞の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

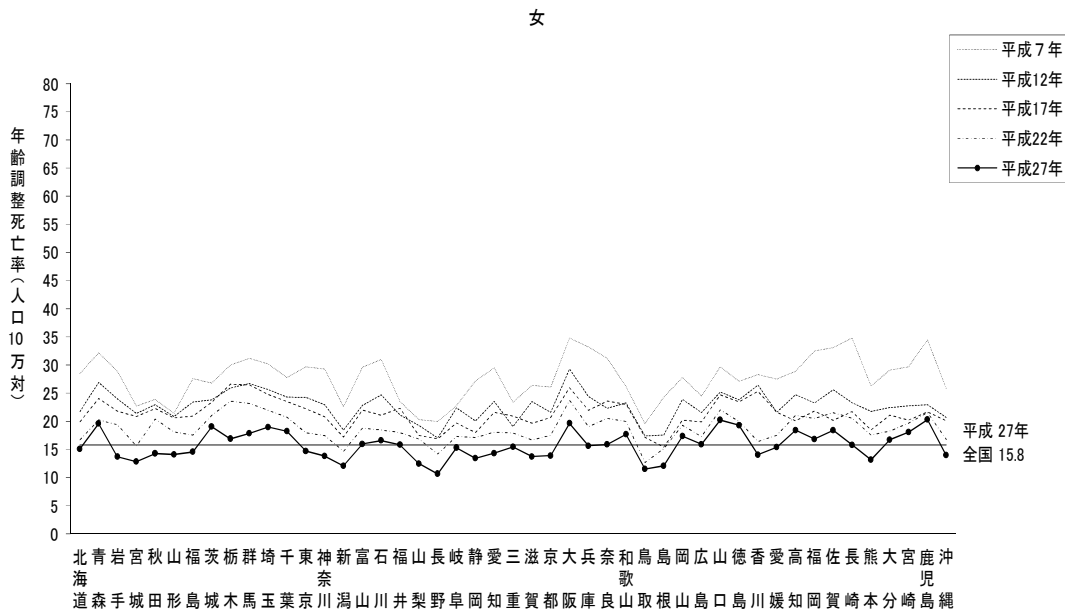
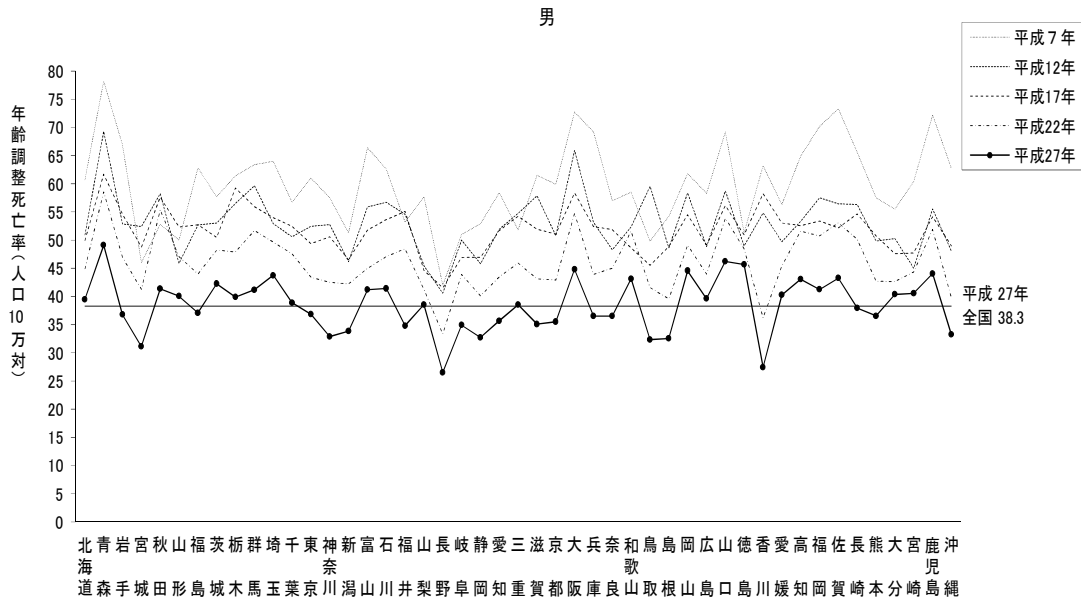


(4)肺炎

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は長野、香川、宮城等で低く、青森、山口、徳島等で高くなっており、女は長野、鳥取、新潟等で低く、鹿児島、山口、大阪等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 46.0 から 38.3、女は 18.9 から 15.8 と低下しており、都道府県別では、男女とも全都道府県で低下している。(図 15)

図 15 肺炎の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

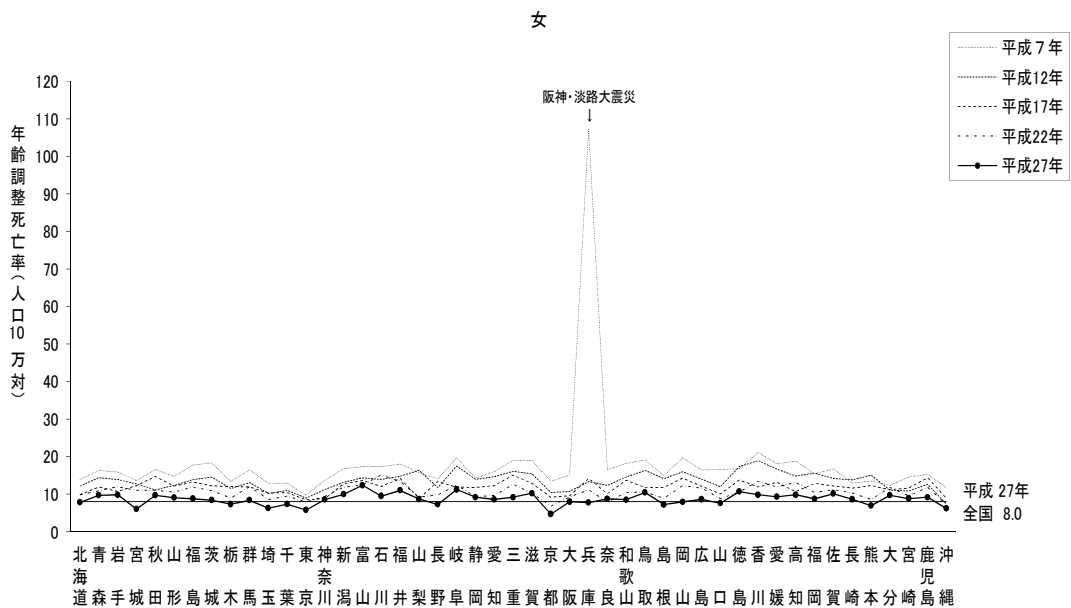
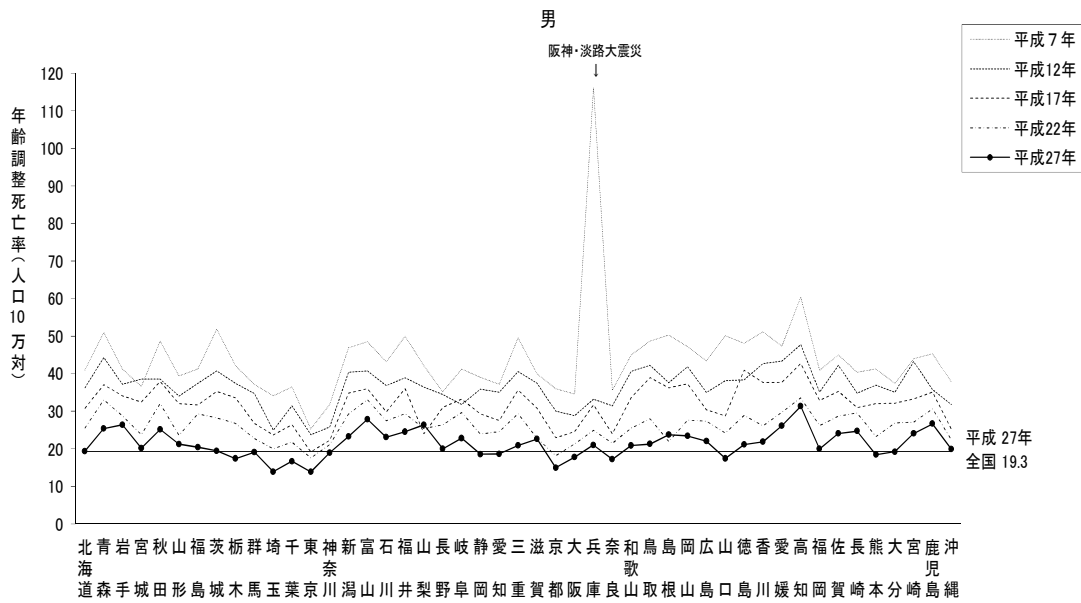


(5)不慮の事故

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は東京、埼玉、京都等で低く、高知、富山、鹿児島等で高くなっており、女は京都、東京、宮城等で低く、富山、岐阜、福井等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 24.2 から 19.3、女は 10.0 から 8.0 と低下しており、都道府県別では、男は 45 都道府県で、女は 44 都道府県で低下している。(図 16)

図 16 不慮の事故の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

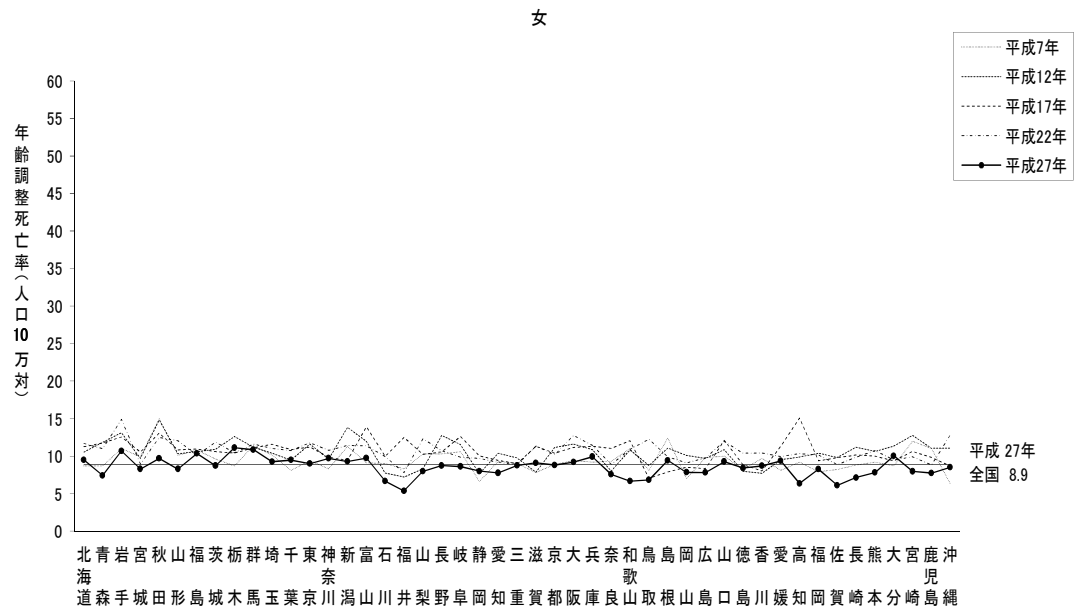
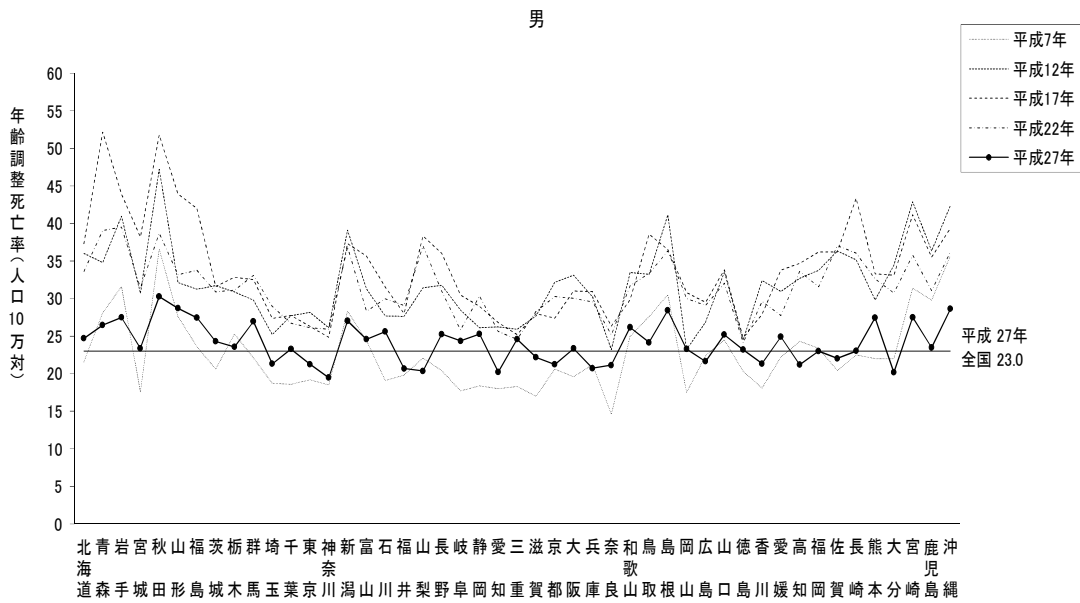


(6)自殺

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は神奈川、大分、愛知等で低く、秋田、山形、沖縄等で高くなっており、女は福井、佐賀、高知等で低く、栃木、群馬、岩手等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 29.8 から 23.0、女は 10.9 から 8.9 と低下しており、都道府県別では、男は 46 都道府県で、女は 44 都道府県で低下している。(図 17)

図 17 自殺の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

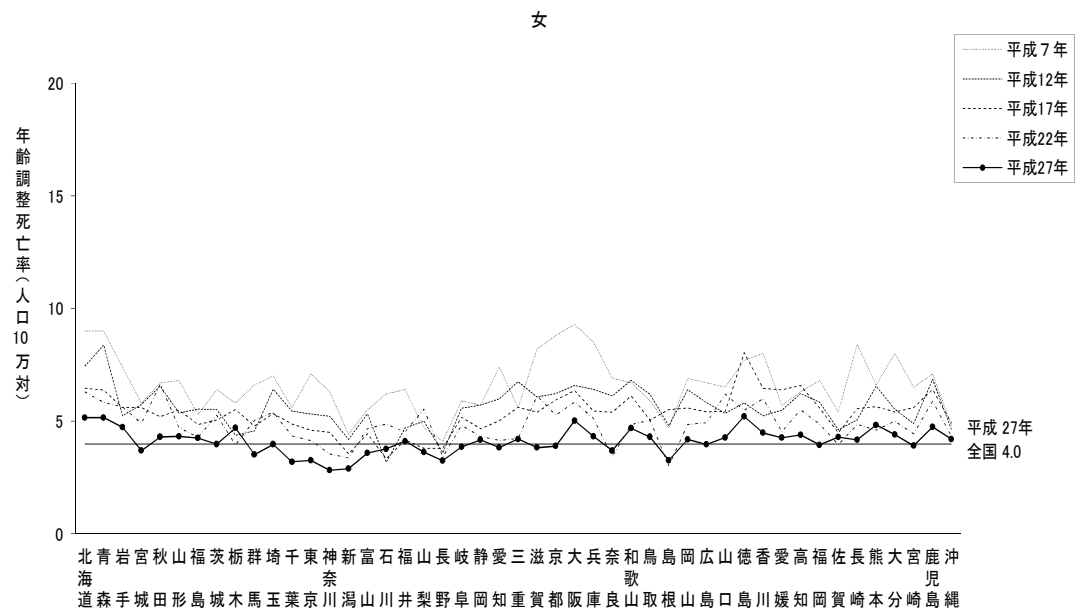
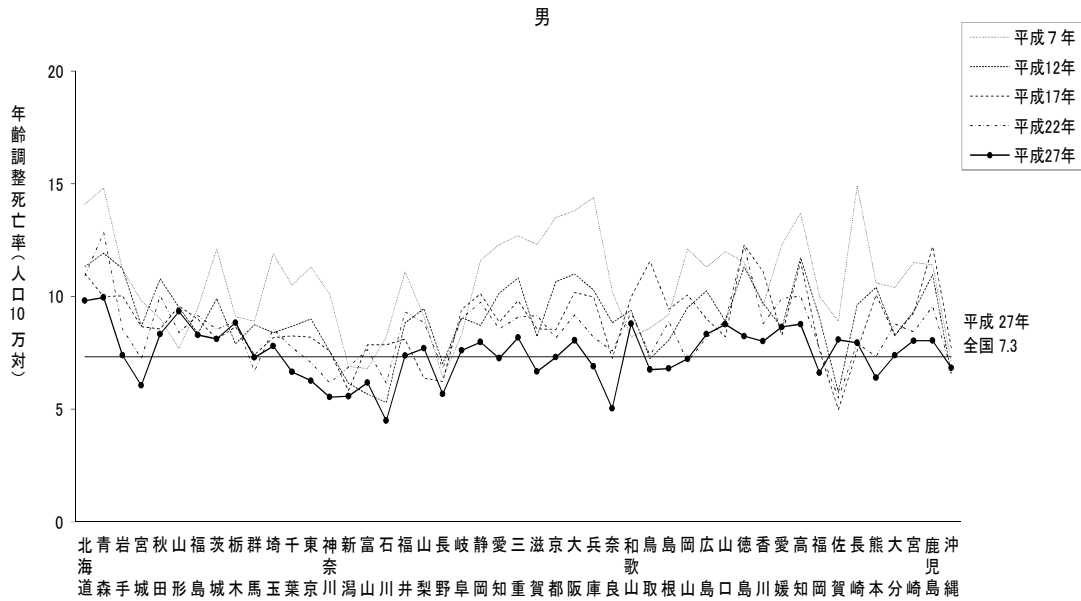


(7)腎不全

平成27年の年齢調整死亡率をみると、男は石川、奈良、神奈川等で低く、青森、北海道、山形等で高くなっており、女は神奈川、新潟、千葉等で低く、徳島、北海道、青森等で高くなっている。

平成22年と27年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は8.3から7.3、女は4.8から4.0と低下しており、都道府県別では、男は40都道府県で、女は42都道府県で低下している。(図18)

図18 腎不全の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

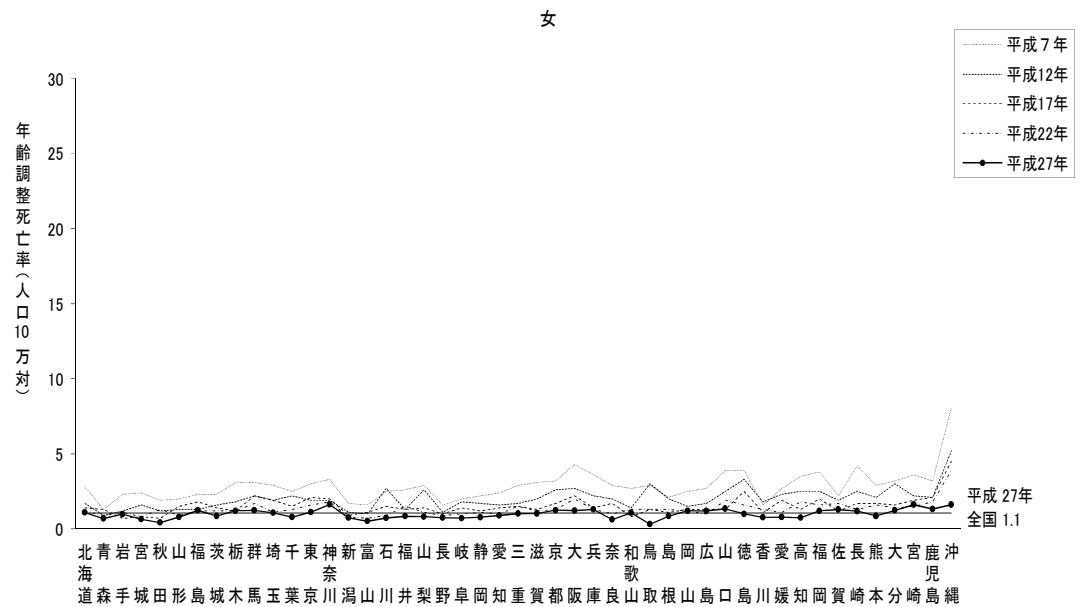
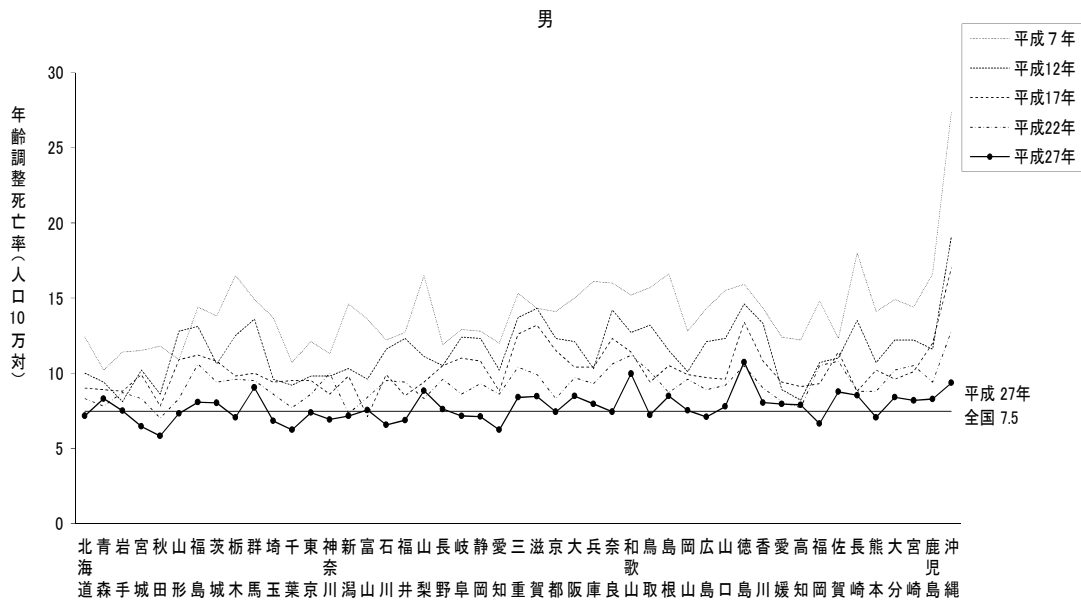


(8)慢性閉塞性肺疾患

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は秋田、千葉、愛知等で低く、徳島、和歌山、沖縄等で高くなっており、女は鳥取、秋田、富山等で低く、神奈川、沖縄、宮崎等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 9.1 から 7.5、女は 1.4 から 1.1 と低下しており、都道府県別では、男は 43 都道府県で、女は 41 都道府県で低下している。(図 19)

図 19 慢性閉塞性肺疾患の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

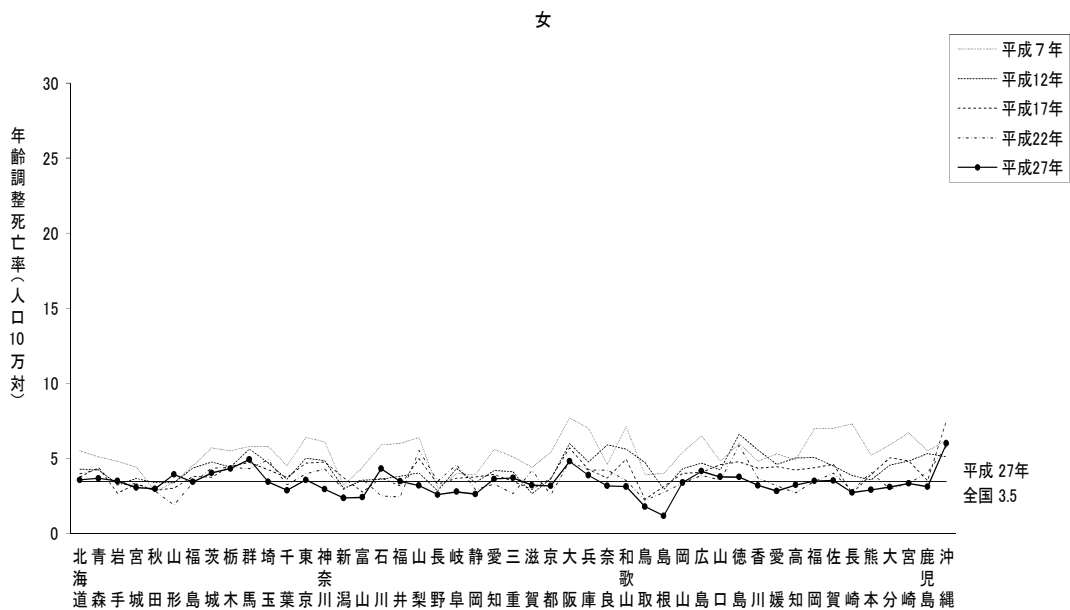
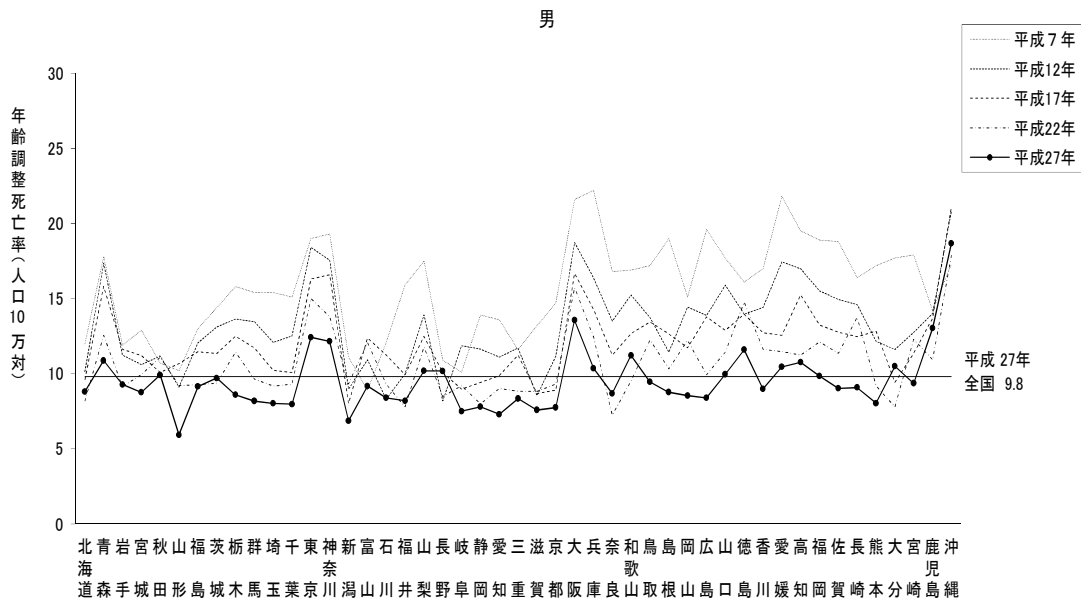


(9)肝疾患

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は山形、新潟、愛知等で低く、沖縄、大阪、鹿児島等で高くなっており、女は島根、鳥取、新潟等で低く、沖縄、群馬、大阪等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 11.2 から 9.8、女は 3.8 から 3.5 と低下しており、都道府県別では、男は 37 都府県で、女は 28 都道府県で低下している。(図 20)

図 20 肝疾患の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—



(10) 糖尿病

平成 27 年の年齢調整死亡率をみると、男は奈良、山形、神奈川等で低く、鳥取、青森、鹿児島等で高くなっており、女は島根、福井、山形等で低く、沖縄、青森、香川等で高くなっている。

平成 22 年と 27 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 6.7 から 5.5、女は 3.3 から 2.5 と低下しており、都道府県別では、男は 40 都道府県で、女は 43 都道府県で低下している。(図 21)

図 21 糖尿病の都道府県別年齢調整死亡率の推移
—平成7・12・17・22・27年—

